

技術情報 vol.4 秋まき小麦

発行年月日 2023. 5. 25
JA 新はこだて厚沢部営農センター
檜山農業改良普及センター
檜山郡江差町字柳崎町 55 番
TEL 0139-53-6141
FAX 0139-53-6143

「赤かび病」、「葉枯症」及び「赤さび病」 の防除時期です！

「きたほなみ」の生育は平年より3日程度早く、出穂揃い^{そろ}は5月末頃(平年5/29)になる見込です。

開花始期より「赤かび病」を主体に、近年発生が目立っている「赤さび病」も含めた防除を行って下さい。

【秋まき小麦防除】

- ※ 防除適期は、図1のとおり開花始(20穂のうち1穂に花が咲いた状態)が目安です。
- ※ 降雨が予想される場合は、穂が出そろった時期に早めの防除を行きましょう。
- ※ 止葉期に追肥を行わなかったほ場や、低タンパク傾向のほ場では、尿素1～2%溶液(尿素1～2kg/水100ℓ 当り)の葉面散布を1～3回を行い、品質確保につなげましょう。
- ※ 希釈倍数の16倍/0.8ℓ及び8倍/0.8ℓは、無人航空機による散布基準です。

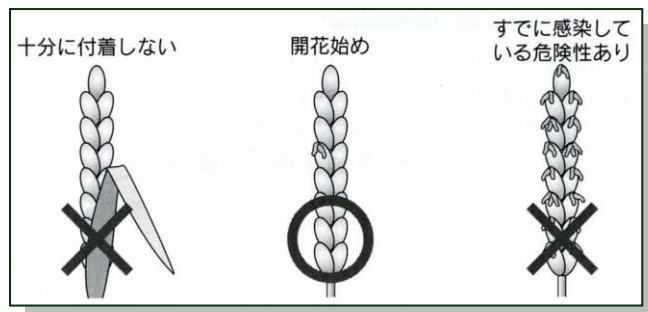


図1 防除適期の目安
(ニューカントリーより一部改変)